

中国語教育学会会報

第71号(通巻96号) 2026年1月16日発行

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

神田外語大学 アジア言語学科

中国語専攻 植村麻紀子研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第24回全国大会発表募集	1
2. 2025年度第2回理事会	2
2.1. 開催日時・方式・出席者	2
2.2. 報告事項	2
2.3. 審議事項	9
3. 事務局からのお知らせとお願い	11
3.1. 会員動向および会費納入状況	11
3.2. 会費納入のお願い	11
3.3. 退会および除籍について	12
3.4. 登録情報の変更について	12
3.5. 住所不明の会員について	12

I. 第24回全国大会発表募集

中国語教育学会第24回全国大会は、2026年6月6日(土)、7日(日)に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)で開催されます。大会概要は下記のWebページをご覧ください。

<https://www.jacle.org/annual24/>

第24回全国大会の発表申し込み期間は、2026年2月1(日)から2月20日(金)23:59(日本時間)です。発表申し込み前に必ず下記の学会Webページにて最新の発表応募規定をご確認ください。

<https://www.jacle.org/application2026/>

発表申し込みは、2026年1月31日(土)時点で2025年度までの会費を納入済みの中国語教育学会会員に限ります。会費をまだお納めでない方はお早めにご入金ください。なお、本学会の年度は4月に始まり、翌年3月に終わります。2025年度は、2025年4月1日から2026年3月31日までです。会費納入状況は、Web版会員名簿(会員情報管理システム)を通じて、会員ご自身で確認することができます。

<https://a-youme.com/aymms/jacle/login/>

2. 2025年度第2回理事会

2.1. 開催日時・方式・出席者

日時:2025年12月6日(土)13:30~17:05

場所:オンライン(Zoom)

出席者(敬称略):

植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、氷野善寛、勝川裕子、佐々木勲人、杉江聰子、

鈴木慶夏、中田聰美、西香織、長谷川賢、平井和之、藤井達也、紅粉芳恵、丸尾誠

望月雄介(『中国語教育』24号、2025年度編集委員会委員長)

伊藤大輔(デジタルリソース委員会委員長)

田邊鉄(第23回全国大会準備委員会委員長)

宮本大輔(第24回全国大会準備委員会委員長)

青野英美、黄琬婷、日高知恵実(幹事)

欠席者:

陳淑梅、古川裕、三宅登之、村上公一、阿部慎太郎(次期理事候補)

2.2. 報告事項

2.2.1. 2025年度第4回編集委員会報告

望月委員長より、2025年度第4回編集委員会が11月29(土)11:00~11:56にオンライン(Zoom)で開催されたことが報告され、『中国語教育』第24号の査読結果が示された。投稿された13本すべてが受理され、第24号からの新査読基準のもと、「修正後再査読」となったものが3本(論文2本、実践報告1本)であったこと、第23回全国大会の基調講演およびシンポジウム登壇者への依頼原稿計5本が掲載予定であることが報告された。また、第24号に関する今後のスケジュールや来年度(第25号)の投稿スケジュールについても報告された。

2.2.2. 第23回全国大会開催報告(2025年度) 会計および参加者数

第23回全国大会準備委員会の田邊委員長より、第23回全国大会の参加人数は会員109名、非会員10名、出版社10社(23名)、計142名であり、また会計収支については下記の表のとおりであったとの報告がなされた。なお、「収入」の項目にある前年度利子45円については、前回大会終了後、事務局の口座に残金全額を返金しているものの、ゆうちょ銀行では半年に1回、その半年間の預金状況に応じて利子がつくため、これを収入の一部として含めたとの説明がなされた。

[収入]

前年度利子	45円
大会運営費(事務局より、基本分40万+追加分30万)	700,000円
大会参加費(参加費・情報交換会費・弁当代・飲料代)	804,547円
書店・出版社出展料(団体12社・非団体6社)	50,000円
託児利用費(利用者1名)	3,000円

	計	1,557,592 円
--	---	-------------

〔支出〕

基調講演・シンポジウム登壇者への謝礼・旅費	332,114 円
基調講演・シンポジウムの源泉徴収費(納税)	5,685 円
託児サービス費	43,650 円
アルバイト代(11名)	162,400 円
交通費(鄭艶群教授の送迎を担当したスタッフへの支出)	11,990 円
弁当代・飲料代(準備委員・アルバイトスタッフ・登壇者・一般参加者)	69,624 円
情報交換会費(羊々亭 食べ飲み放題・ノンアルコールプラン)	361,200 円
備品代(コピー紙・名札・文具・ゴミ袋・マスク等衛生用品)	18,176 円
郵送代(翌年度引き継ぎのための物品郵送+事務局への書類送付)	4,550 円
振り込み手数料・硬貨料金・金種指定代金	2,185 円
計	1,011,574 円

残金(事務局への返金) 546,018 円

2.2.3. 2025 年度研究会開催報告および今後の開催予定

鈴木理事より、2025年度第1回研究会が2025年12月13日(土)13:00~15:15にオンライン(Zoom)で開催されたとの報告がなされた。第1回研究会は、当初の予定では2025年7月27日(日)に開催予定であったが、6月23日(月)の発表者応募締め切り時点で発表申し込みがなかったため、開催を延期したとの経緯が説明された。

【第1回研究会について】

2025 年度第 1 回研究会(運営担当:東日本)

日時: 2025 年 12 月 13 日(土) 13:00~15:15

開催方法: オンライン(Zoom)

当日の流れ(発表 30 分+質疑応答 10 分=1人 40 分)

13:00~13:05 諸注意

13:05~13:45 [研究発表]長谷川尚輝(東南大学・院)

　　日中同形語の教授法に関する研究—『国際漢語教育漢語水準等級標準』を基準として

13:45~13:50 休憩

13:50~14:30 [研究発表]毛興華(東京大学)

　　V+N+了”はなぜ仮定条件節に現れるのか

　　—“了 2”の<状態パーフェクト>的用法とムード的意味の消失—

14:30~14:35 休憩

14:35~15:15 [実践報告]謝平(福岡大学)

　　学生が主体的に学ぶ「読解」の授業の試み

【今後の予定】

2025 年度第 2 回研究会(運営担当:西日本)

日時:2026 年 3 月 1 日(日) 開始時刻は未定

開催方法:オンライン(Zoom)

2.2.4. デジタルリソース委員会報告

伊藤委員長より、同委員会では定期的に Web サイトの更新作業を実施しており、2025 年 5 月 31 日に開催された第 1 回理事会以降では、①学会トップページにて「『中国語教育』バックナンバーの電子アーカイブ化に関するお知らせとお願い」を掲載したほか、②会報第 70 号の掲載、③第 1 回研究会に関する情報の掲載、④第 9 回中国語教育ワークショップ・交流会に関する情報の掲載、⑤投稿規程の一部更新、⑥外部団体等からのイベント情報 8 件・公募情報 3 件の掲載を行ったとの報告がなされた。新規の公募情報および関連イベント情報については、掲載と同時に会員メーリングリストにリマインダーを配信したことも併せて報告された。

外部団体等から寄せられたイベントを掲載する基準について、掲載可否を迷った場合は、依頼元の会員・非会員を問わず、理事会メーリングリスト上で審議することとした。

【参考】イベント情報等の掲載フロー

○主催行事等、学会が主体であるような告知

各担当者 → デジタルリソース委員会

○会員からの関連する他団体等の情報、公募情報

会員 → 事務局 → デジタルリソース委員会（採否の決定は委員長）

○非会員・他団体等からの直接の掲載依頼

非会員の個人や団体等 → 事務局 → デジタルリソース委員会 → 理事会（持ち回り）
で可否審議 → (可の場合) デジタルリソース委員会で掲載、(否の場合) デジタルリソース
委員会から回答

外部団体等からの掲載依頼

事務局を通じて、外部団体のイベント告知および大学等公募情報の掲載依頼があり、いずれも学会の Web サイトに掲載することに問題のない内容であるため、デジタルリソース委員長が採否を決定、委員会で掲載した(5/31~11/23 分)。

○イベント：北京语言大学海外本土教師培训

○イベント：「漢語橋」世界小学生中国語ショー大会

○イベント：パフォーマンス課題／評価をテーマとした WS

○イベント：政策提言シンポジウム「多文化多言語の子どもの学びの保障 — 公正な教育の実現
に向けて —」

○イベント：第 19 回「未来を強くする子育てプロジェクト」

○イベント：母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 学会 2025 年度研究大会のご案内

○イベント：第10回 HSK中国留学・就職フェア2025

○イベント：外国語教育と異文化理解・交流の促進－深化と発展を目指して－

○公募情報：日本大学（6/16～9/12）

○公募情報：立命館大学（6/24～8/20）

○公募情報：大阪産業大学（7/7～8/25）

（ ）内は掲載期間

2.2.5. 中国語教育ワークショップ・交流会開催報告および今後の開催予定

勝川理事（中国語教育ワークショップ・交流会委員会委員長）より、第8回・第9回ワークショップの開催報告および今後の予定が報告された。

【終了分】

第8回 中国語教育ワークショップ・交流会（2025年8月27日（水）12:00～16:00）

◆テーマ：語学教育でのコーチング導入について（実践）

◆ファシリテーター：伊地知太郎先生（語学コーチングスクール the courage 代表）

◆開催形式：対面、近畿大学東京センター（東京都中央区）

◆参加者数：20名

第9回 中国語教育ワークショップ・交流会（2025年11月29日（土）10:00～12:00）

◆テーマ：中国語教育における映画字幕翻訳の実践

◆講師：古川裕先生（大阪大学・人文学研究科・名誉教授）

◆開催形式：オンライン（Zoom）

◆参加者数：75名

【今後の予定】

第10回 中国語教育ワークショップ・交流会（2026年1月30日（金）20:00～21:30）

◆テーマ：中国語教育交流・お悩み相談会

◆ファシリテーター：植村麻紀子、太田匡亮、氷野善寛

◆概要：参加者同士の交流会形式で、3つ程度のテーマごとにブレイクアウトルームに分かれて自由に交流を行う。各ルームにはファシリテーターを置き、参加者からの発言を軸に、情報共有したり他の教員の取り組みを知ったりする場を提供する。また、事前にアンケートで他の参加者に聞いてみたい質問を投稿できるようにし、交流テーマの設定にも生かす予定である。

◆開催形式：オンライン（Zoom）

第11回 中国語教育ワークショップ・交流会（2026年2月22日（日）10:00～12:00）

◆テーマ：中国語教育における映画字幕翻訳の実践 第2弾！

◆講師：古川裕先生（大阪大学・人文学研究科・名誉教授）

◆開催形式：オンライン（Zoom）

2.2.6. 対外交流の動きについて

植村会長より、2025年度第1回理事会以降から現在までの対外交流の動きとして、台湾の世界華語文教育学会から学会誌『華語文教学研究』の第22巻第2期、第3期（2025年）がWebサイトのリンク引用の形式で届いたことが報告された。

《華語文教學研究》第22卷第2期 臺灣學術期刊開放取用平台（TOAJ）免費下載及閱覽：

<https://toaj.stpi.niar.org.tw/index/journal/volume/4b1141f997a7bf9101980c338af01e55>

《華語文教學研究》第22卷第3期

<https://toaj.stpi.niar.org.tw/index/journal/volume/4b1141f98de0d9f4018df4ba97bc0c18>

2.2.7. 第24回全国大会（2026年）準備状況報告

第24回全国大会準備委員会の宮本委員長より、2026年6月6日（土）～6月7日（日）に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで開催される同大会の準備状況について報告がなされた。大会準備委員として、次の11名が承認された。

（1）大会準備委員（五十音順、敬称略）

浅野雅樹（慶應義塾大）、川田健（東洋大等）、鈴木慶夏（神奈川大）、丁雷（慶應義塾大）、
日高知恵実（明治学院大）、藤井久美子（東洋大）、宮本大輔（大会委員長・慶應義塾大）、
山口早苗（慶應義塾大）、山下一夫（慶應義塾大）、吉川龍生（慶應義塾大）、由川美音（慶應義塾高）

（2）開催時期・会場

2026年6月6日（土）～6月7日（日）の2日間

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322）

<https://www.sfc.keio.ac.jp/maps.html>

開催方式：対面

※ただし、台風等の自然災害発生に備え、オンライン併用の準備を行う。その際、オンライン対応の範囲は基調講演1・2とする。

（3）プログラム（以下は現時点での予定。詳細は4月発行の「大会案内」参照）

【1日目（6月6日土曜日）】

時間	予定
10:30-12:30	2026年度第1回理事会
12:00-14:30	受付

12:00-17:00	書店・出版社展示会
12:00-17:30	クローカ
13:00-13:10	開会式 司会(会場挨拶):宮本大輔(慶應義塾大学・准教授) 学会会長挨拶
13:10-14:00	基調講演 1 中浜優子(慶應義塾大学環境情報学部・教授) 題目:語用論的能力の習得:研究動向・教育的示唆と展望(仮)
14:00-14:20	休憩
14:20-15:10	基調講演 2 井上逸兵(慶應義塾大学文学部・教授) 題目:AI 時代の語用論的能力(仮)
15:10-15:30	休憩・質問整理
15:30-16:00	質疑応答
16:15-17:15	会員総会→終了後、キャンパス内の学生食堂へ移動
17:30-19:00	情報交換会(アルコールなし、学生食堂)

[参考]湘南台駅西口/辻堂駅北口 ⇄ 慶應大学本館前時刻表 URL

往路(湘南台駅西口発)

<https://www.kanachu.co.jp/dia/noriba/terminal?nid=00129893&pno=1>

往路(辻堂駅北口発)

<https://www.kanachu.co.jp/dia/diagram/timetable/cs:0000802690-1/nid:00129934/rt:0>

復路(慶應大学本館前発)

<https://www.kanachu.co.jp/dia/diagram/search?k=rt=0&t=0&sdid=00129986>

【2日目(6月7日日曜日)】

9:30-12:00	受付
9:30-16:30	クローカ
9:30-16:30	書店・出版社展示会
9:30-16:30	休憩室(食事等も含め、自由利用可)
10:00-16:00	分科会

分科会発表:発表時間 20 分、質疑応答 10 分、入替・移動 10 分。午前 3 会場×3 枠、午後 3 会場×4 枠、計 21 枠を想定(昼休み 90 分)。16:30 ごろ全体終了、撤収予定。発表希望者が少ない場合は、会場数を 3 から 2 へ変更するか、午後の枠を減らす(早めに閉会)。

(4) 今後のスケジュール

2025年12月中 学会Webサイトにて第24回全国大会の告知開始

2026年1月中 「会報」に大会案内と発表応募規定を掲載

2/1-2/20 発表申込受付期間(日本時間)

3/15 発表採択者の決定

4月中 学会Webサイトに大会プログラムを掲載

4/21 予稿集原稿締め切り

4/22-5/11 予稿集編集

4/22-5/17 事前参加申込期間(※1)

5月下旬 予稿集公開(専用ページ)(※2)

6/6-6/7 大会当日

※1 事前参加申し込み終了日の5/17まではキャンセル可。手数料を除いた参加費の返金を行う。

※2 司会担当者には、担当分の原稿を事前にメールで別途送付する。

(5) 発表申し込みについて

① 発表の種類と応募方法

発表形態は分科会発表のみとする(ポスター発表なし)。発表希望者は発表申込受付期間に、指定の「発表申込表」と審査用要旨(A4判1頁、1000字程度)を提出する。

② 発表申込受付期間

学会Webサイトおよび会報で広報を開始し、2026年2月1日から2月20日23:59(日本時間)の期間にメールで申し込みを受け付ける。

③ 予稿集について

デジタル版のみを作成。発表予定者には「執筆要領」に従いデータの提出を求める。デジタル版は大会およそ1週間前から学会Webサイトに掲載。

④ 発表時の使用言語

「発表申込表」には発表言語を必ず記入すること。申し込み後の変更は認めない。ただし、質疑応答はこの限りではない。

(6) 大会参加費等について

大会参加費(4/22-5/17): 会員3,000円・非会員3,500円

大会参加費(事前申込期限後): 会員4,000円・非会員4,500円

昼食弁当: 1,000円(2日目のみ、申し込みは4/22-5/17)

情報交換会費: 一律4000~5000円(金額は未定。情報交換会会場の規約による。申し込みは4/22-5/17のみとし、当日は受け付けない)

書店・出版社出展料: 無料(会員団体)、5,000円(非会員団体)(※1)

※1 今年度、試験的に導入するが、今後も継続するかは未定とする。

(7) 学会託児について

会場では託児室を用意しない。第 21 回大会(東海大学)と同様、託児施設を利用した方に補助金(1 日 3000 円、2 日間で 6000 円)を支給する。ただし、事前申請した者に限る。申請後、5 月下旬までに、指定のフォームを準備委員会宛に送付。学会終了後、領収書を準備委員会宛に送付。なお、自宅保育(ベビーシッター、ファミリーサポート)は除く。

2.2.8. 第 25 回全国大会(2027 年度)について

植村会長より、2027 年度第 25 回全国大会に関する報告がなされた。

日時：2027 年 6 月 5 日(土)～6 日(日)(予定)

場所：松山大学樋又キャンパス(〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4 番地 2)(予定)

大会準備委員会：望月雄介(委員長)

<https://www.matsuyama-u.ac.jp/guide/campus/guide-206304/>

2.2.9. 学会誌デジタル化の進捗状況について

氷野代表理事(学会誌のデジタル化に関わるワーキンググループ委員長)より、学会誌デジタル化の進捗状況および公開範囲と掲載の許諾について、報告がなされた。既刊の第 22 号は、2025 年 10 月 3 日より J-STAGE にて公開を開始しており、また創刊号から第 21 号についても、今年度末までに順次公開する予定であるとの説明がなされた。またすでに理事会で決定したとおり、今後は刊行から 1 年後の 3 月 31 日にデジタル版を公開する方針であることが確認された。

2.2.10. 会員動向および会費納入状況

本会報 p.11 にある「3.1 会員動向および会費納入状況」を参照。

2.3. 審議事項

2.3.1. 会長および理事の選出について

植村会長より、2026～2027 年度理事選挙の電子投票の結果について報告がなされた。開票結果(得票数のみ)は、事務局代行から会長、代表理事 3 名、幹事 1 名からなる開票立会人にメールで送付され、当該メンバーが照合した(開票証明書は資料①を参照)。投票結果は、投票数 110 人、有効投票数 110 人、無効投票数 0 人であり、開票結果は下記のとおりとなった。

最初に植村会長より、「会長、理事の選出に関する内規」にもとづき、理事候補が示され、在籍の候補者に対して理事就任の依頼がなされた。その結果、氷野善寛現代表理事、清原文代現代表理事、丸尾誠現理事、植村麻紀子現会長、鈴木慶夏現理事、勝川裕子現理事、紅粉芳恵現理事は理事就任を承諾し、加藤晴子現代表理事および西香織現理事からは理事就任を辞退する申し出がなされた。欠席者の阿部慎太郎会員については、事前に就任の承諾を得ているとの説明がなされた。2 名の辞退者による理事の繰り上げ就任については、植村会長が後日、次点の古川裕現理事および三宅登之現理事に別途打診することとなった。

次に、会長経験者を除き、得票数の多い順番に会長就任の打診がなされ、議論の結果、紅粉芳恵現理事事が次期会長に就任することが決定された。そのうえで、理事の多選、とりわけ会長経験者が再選する状況が続いていることを踏まえ、今後、理事選のあり方や会則を変更するなど、大幅な見直しをしていくことが確認された。

開票結果

(票数の後ろの※は会長経験者。票数が同数の場合は氏名の五十音順で配列。以下、敬称略。)

1位:氷野 善寛	33票※
2位:加藤 晴子	31票
3位:清原 文代	29票※
3位:西 香織	29票
5位:丸尾 誠	23票※
6位:植村 麻紀子	22票※
7位:鈴木 慶夏	21票
8位:勝川 裕子	20票
9位:紅粉 芳恵	19票
10位:阿部 慎太郎	17票
次点:古川 裕	16票※
三宅 登之	16票※

2.3.2. 『中国語教育』第25号(2026年度)編集委員選出について

望月委員長より、『中国語教育』第25号(2026年度)編集委員の候補について以下のように提案があり、承認された。1年目の理事枠については、編集委員会に関する内規に基づき、後日、次期会長によって委嘱されることが確認された。

〈2年目〉4名

齋藤貴志(麗澤大学)【委員長】

吉川龍生(慶應義塾大学)

丁雷(慶應義塾大学)(中国語母語話者)

丸尾誠(名古屋大学)【理事枠】

〈1年目〉4名

青木萌(長野大学)

島村典子(京都外国語大学)

許挺傑(大分県立芸術文化短期大学)(中国語母語話者)

次期理事から1名【理事枠】

2.3.3. 2026～2027 年度中国語教育ワークショップ・交流会委員の選出について

中国語教育ワークショップ・交流会 2026～2027 年度委員が、以下のとおり承認された。
阿部慎太郎（委員長）、上野振宇、仇曉芸、謝平、西村英希、氷野善寛

2.3.4. 2026～2027 年度デジタルリソース委員の選出について

デジタルリソース委員会 2026～2027 年度委員が、以下のとおり承認された。
伊藤大輔（委員長）、太田匡亮、宋新亜、李光曦

2.3.5. 全国大会での出版社等による企業広告について

第 24 回全国大会準備委員会の宮本委員長より、全国大会での新たな試みとして、出版社等による企業広告を実施したいとの提案がなされた。本件に対して理事からは、概ね反対意見や懸念事項が示された。議論の結果、まずは企業広告以外で実現可能のこととして、①出展ブースの場所や動線などを再検討する、②出展ブース近くに飲み物やお菓子を置くなど、参加者が立ち寄りやすい環境をつくる、③昼休みや分科会間の休み時間を十分に確保するといった事項を検討し、書店・出版社展示が孤立しないような工夫や対応をすべきだ、との意見が出された。また、団体会員の出展料の見直しについても意見が出された。よって、本件についての承認は保留とし、企業広告を実施する場合は、あらためて理事会メーリングリストでのメール裏議にかけることとなった。

3. 事務局からのお知らせとお願い

3.1. 会員動向および会費納入状況

会報第 70 号以降の会員動向は以下のとおりです。

(1) 会員数(2025 年 1 月 4 日現在): 計 597 名

個人会員 575 (通常会員 532 名、名誉会員 43 名) / 団体会員 22 名

(2) 新入会者(2025 年 9 月 1 日～2026 年 1 月 4 日現在): 計 13 名 (以下敬称略)

王冰 (暨南大学日本学院)、黄夢鵠 (大阪大学人文学研究科)、朱海棠 (福山大学社会連携推進センター)、桑宇 (大阪国際大学・非)、千葉洋介 (浙江師範大学外国語学院・外教)、張麗靜 (関西大学・京都外国语大学・神戸学院大学・四天王寺大学・非)、長谷川尚輝 (中国東南大学・院)、楊馨嵐 (徳島県シルバー大学校・講師)、横谷雅葉 (台湾国立清華大學跨院國際碩士學位學程・院)、羅非凡 (日本経済大学・非)、李云 (立命館大学・嘱託講師)、劉赫洋 (佛教大学・特任教員)、劉森 (沖縄国際大学)

(3) 退会届提出者(2025 年 9 月 1 日～2026 年 1 月 4 日現在): 計 9 名

(4) 会費納入状況(2025 年 11 月 28 日現在): 2,555,000 円

3.2. 会費納入のお願い

会費未納の方は、お早めに納入くださるようお願い申し上げます。会費納入状況は会員自身で Web 版会員名簿 (会員情報管理システム) にて確認することができます。

<https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

昨年 4 月に郵送した払込取扱票がお手元にない場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください。その際、通信欄に氏名および会員番号をご記入ください。会員番号がわからない場合は、氏名に加えて、学会に登録している住所を必ずご記入ください。

[口座記号ー口座番号] 00110-1-191152

[加入者名] 中国語教育学会

3.3. 退会および除籍について

退会を希望される方は、当該年度までの会費をすべて納入した上で、学会サイトの「Web 版会員名簿・変更手続き」にログインして退会手続きを取っていただきますようお願いいたします。なお、会則第 5 条に基づき除籍になった会員は、氏名が会報に掲載されますのでご注意ください。会報は学会 Web サイトで公開されます。退会届が受理された場合、退会者の氏名は掲載いたしません。

3.4. 登録情報の変更について

学会への登録情報(ご住所・ご所属・メールアドレス等)に変更がある場合は、本学会サイトの Web 版会員名簿にログインして、ご自身で変更していただきますようお願いいたします。

Web 版会員名簿の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。Web 版会員名簿に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒550-0001

大阪市西区土佐堀 1 丁目 4-8 日栄ビル 703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail:support@jacle.org

TEL.06-6441-5260(代) FAX.06-6441-2055(代)

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しています。ご連絡の際には、「中国語教育学会」についての問い合わせであるということを必ずお伝えください。

3.5. 住所不明の会員について

住所不明のため、学会からの郵便物を送付できない会員の方が 12 名いらっしゃいます。下記に記載した会員の連絡先をご存知の方は、あゆみコーポレーション内の事務局事務代行(support@jacle.org)までご連絡ください。

(敬称略) 泉興長、岡田文之助、城内郁子、橋本南都子、山口和子、山本真味、王淑貞、金敬玲、申慧敏、張尋、方雨琦、李丹芸

資料① 2026～2027 年度理事選挙結果（開票証明書）

記

【選挙名】中国語教育学会 2026～2027 年度理事選挙

【開票日時】2025 年 11 月 21 日（金）

【開票方法】選挙終了後、電子投票システムの管理を行う（株）あゆみコーポレーションから会長、代表理事 3 名、幹事 1 名の 5 名に対し、電子メールによる結果の通知が行われた。

投票数：110 人

有効投票数：110 人

無効投票数：0 人

開票結果

1 位：水野 善寛 33 票

2 位：加藤 晴子 31 票

3 位：清原 文代 29 票

3 位：西 香織 29 票

5 位：丸尾 誠 23 票

6 位：植村 麻紀子 22 票

7 位：鈴木 慶夏 21 票

8 位：勝川 裕子 20 票

9 位：紅粉 芳恵 19 票

10 位：阿部 慎太郎 17 票

次点：古川 裕 16 票

三宅 登之 16 票

以上の選挙について、正当な手続きに基づき、正確かつ公正な開票がなされたことをここに証する。

開票立会人

植村 麻紀子 

清原 文代 

加藤 晴子 

水野 善寛 

黄 琬婷 

以上